

2026年1月16日

今年「和やか」初めての催行、天候は良く穏やかな一日でしたが、大寒の前でもありやはり寒い一日でした。

金山駅集合と一部堀田駅合流で、参加者は22名での初詣です。

私は何時参拝に来たか記憶にない程（何十年も前）の久々の参拝でした。

境内は自由参拝の為、半数ほどの方との集合写真です。

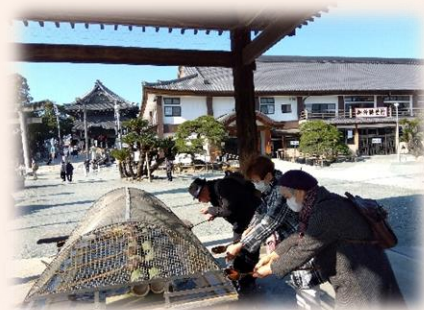


みょうごんじ

【豊川稲荷 妙厳寺】

全国から参拝者が訪れる商売繁盛のおいなりさん

日本三大稲荷のひとつに数えられ、商売繁盛のご利益で全国的に知られる「豊川稲荷」。曹洞宗の寺院で正式には「妙厳寺」といい、約580年前の室町時代(1441年)に創建されて以来、織田信長公、豊臣秀吉公、徳川家康公などの武将や、渡辺崋山など文人たちからの信仰を集めてきました。その鎮守『豊川吒枳尼真天(とよかわだきにしんてん)』（通称豊川稲荷）は江戸時代には庶民の間で商売繁盛や家内安全、福德開運の善神として全国に信仰が広がり、現在も年間およそ500万人もの参拝客が訪れます。「webより」



【大黒堂】

豊川稲荷の大黒堂は、土蔵造りの堅牢な建築が特徴で、金運や商売繁盛のご利益を授ける大黒天が祀られています。

堂前には「おさすり大黒天」と呼ばれる2体の像があり、参拝者は「オン・マカキアラヤ・ソワカ」という真言を唱えながら像を撫でることで、広大無辺の仏のご利益を授かるとされています。

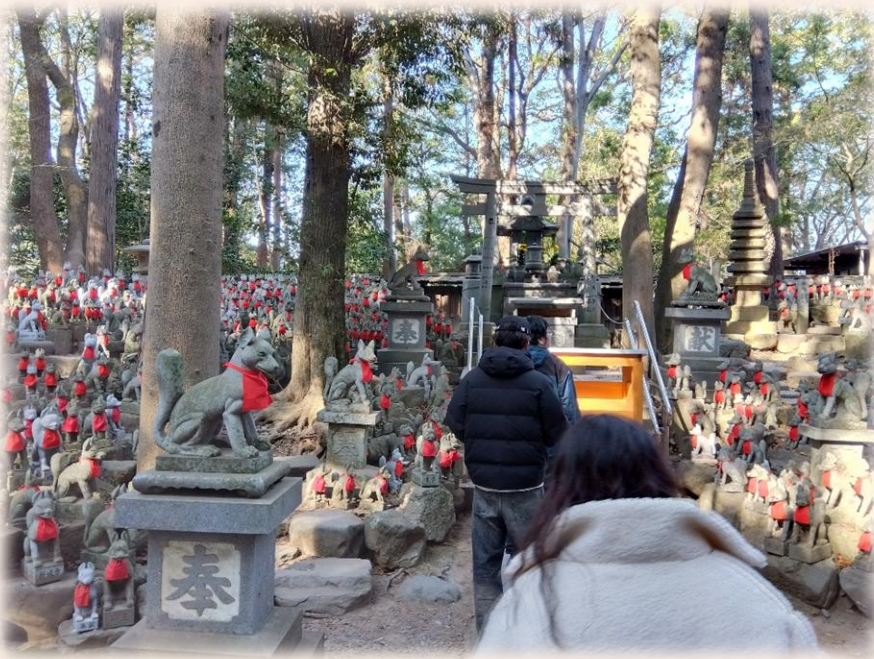
大黒天は七福神の一柱として財運・福德の象徴であり、豊川稲荷の商売繁盛の信仰と深く結びついているため、個人から企業参拝者にも広く支持されています。

「web より」



【狐像が所狭しと並び

霊狐塚は圧巻】



本殿でのお参りのあとは、狐の石像が奉られている霊狐塚も一見の価値あり。もともとは納めの狐像を祀る場所でしたが、現在では信者から献納された大小 1,000 体以上の狐の石像がずらりと並び、その様子は圧巻です。「web より」

平日でも多くの参拝者でも賑やかでした。

正月気分も終わり、平日の為境内出店の店はテントで覆われて営業店舗は有りませんが
まだまだ参拝客は多い為、山道の店舗は賑わいが有ります。

参拝を終えて金山まで戻り、半数ほどの人数が参加で遅めのランチをしながら親睦をはかり
一日を終えました、お世話して頂いた「和やか」お世話役の皆様、有難う御座いました。